

かがやき 12月

長かった2学期も、とうとうあと一か月を切りました。今年は新型コロナウイルスにより、色々なことが「いつもとちがう」一年になりましたね。あらためて健康の大切さを実感した人もいるのではないのでしょうか？

体調管理・健康観察をしっかりと

つづけよう！
手洗い・マスク・
ソーシャルディスタンス

▽マスクの選びかた

布マスクやポリウレタン製などのマスクは、製品によってウイルスが透過しやすい場合があります。製品情報をよく見て、目的に合ったマスクを選びましょう。

▽水分補給をしましょう

冬は水分補給を忘れがちです。のどや気管支の粘膜が乾燥して傷むと、ウイルスが感染しやすくなります。また、脱水症状を起こす可能性もありますので、意識的に水分を摂りましょう。

▽健康観察を毎日かならず行いましょう

体調が悪い時は体の抵抗力が落ちているため、特に注意が必要です。朝起きた時に「何かおかしいな」と思ったときは、保護者の方に伝えて休養してください。登校後に体調が悪くなった時も、すぐに先生に伝えてください。

① ウイルスの入り口は 目・鼻・口



手についたウイルスから感染することも…

- 手で顔やマスクをさわらない
- 石けんでいねいに手を洗う

保護者の方へ「インフルエンザの出席停止について」

11/24(火)に、「インフルエンザ登校許可報告書」を全校生徒に配付しました。学校HPにも12/4(金)にアップいたします。この用紙は、インフルエンザに罹患した場合に使用していただくものです。出席停止期間の証明になりますので、登校再開日に必ずご提出ください(医療機関の証明はいりません)。

《相模原市の発熱患者の受診・相談体制が変わっています！》

新型コロナウイルス感染症の相談窓口を設けていましたが、インフルエンザの流行に備えて11月より相談体制が変更になっています。

発熱・咳・のどの痛みなどの症状がある場合は、まずは電話でかかりつけ医に相談してください。

《インフルエンザの判定検査について》

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、医療機関では「インフルエンザの判定検査は行わない(一部の医療機関を除く)」ことになりました。したがって、学校では医療機関で「インフルエンザの疑い」と診断された場合、インフルエンザによる出席停止として対応いたします。

出席停止期間は「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」です。

①お子さまがインフルエンザ(疑いも含む)と診断をされたら、学校へご連絡ください。

②解熱しましたら、もう一度学校へご連絡ください。登校可能日を確認いたします。

※裏面に、インフルエンザの出席停止期間の表を記載していますのでご活用ください。



インフルエンザの出停期間「発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで」

つまり・・・

基準①：発症した翌日から5日経過していること。 基準②：解熱した翌日から2日経過していること。

2つの基準を両方満たしている場合に登校できます。ただし、咳等の症状が残っていたら登校できません。

日数	発症日 0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	注意点など
保護者確認らん→ 日付を入れてください	/	/	/	/	/	/	/	/	/	現時点で解熱していなければ、解熱後、再び学校へご連絡ください。
例1 発症後1日目に解熱	熱 	解熱 	平熱① 	平熱② 	平熱 	平熱 	登校可			基準①を満たすまで出席停止。
例2 発症後2日目に解熱	熱 	熱 	解熱 	平熱① 	平熱② 	平熱 	登校可			基準①を満たすまで出席停止。
例3 発症後3日目に解熱	熱 	熱 	熱 	解熱 	平熱① 	平熱② 	登校可			基準①、②の両方を満たしているため6日目から登校可。
例4 発症後4日目に解熱	熱 	熱 	熱 	熱 	解熱 	平熱① 	平熱② 	登校可		6日目に基準①を満たすが、基準②を満たしていないため7日目から登校可。
例5 いちど解熱し、再び発熱	熱 	熱 	解熱 	熱 	熱 	解熱 	平熱① 	平熱② 	登校可	再び解熱し、基準②を満たしたら登校可。
例6 解熱してからも、咳などの症状が残っている	熱 	熱 	解熱 咳あり 	平熱① 咳あり 	平熱② 咳あり 	平熱 咳あり 	平熱 咳あり 	平熱 咳あり 	登校可 咳なし 	基準①、②を満たしていても、咳などの他の症状があったら登校不可。症状がなくなった日から登校可。

☆学校保健安全法をふまえた相模原市の基準です。かかりつけの医師から基準を満たさない登校許可が出て、こちらを優先してください。